



ARTCOURT Gallery

Yagi Art Management, Inc.

OAP ARTCOURT 1F 1-8-5 Tenmabashi Kita-ku Osaka 5300042 JAPAN

「秋山 陽」展 開催のご案内

Yo Akiyama solo exhibition



《Metavoid 21》2013, 陶, 25×157×68 cm / 《抱卵のかたち-肖像-》1975-2013, 陶, 33.5×38×19 cm (撮影: 福永一夫)

秋山陽は、学生時代に焼きものと出会ったことで、土の物質性やエネルギーと真摯に向き合いながら立体造形に対する意識を確立し、かつスケールの大きな作品を手掛けてきました。アートコートギャラリーでは、その秋山の力強い造形の動脈ともいえる「根幹」と、秋山が踏み出す次なる一步の「今」ともにご紹介する新作展を開催いたします。

秋山の初期作品は、黒陶技法を用いた不思議な造形物でした。土に対するコンセプトや表現テーマも未だ見出せない学生時代、興味を抱いていたプリミティブアートや、プランクシーやアルプといった近代彫刻、師であった八木一夫らの影響を受け、自らが思う形を黒陶によって制作していました。現存しない当時の作品群ですが、それらの中に、秋山は、「今」の自分と通じる「秋山」の姿があると振り返ります。そして自らの1970年代を咀嚼しなおし、当時の黒陶を「今」の手で改めて制作する仕事を始めました。初源を再生あるいは開拓していくとも言えるこの新たな試みに、秋山は「抱卵のかたち」(*鳥が卵を抱いたまま何十年も温め続けている状態)シリーズと名付け、自身の「根幹」の形として約10点を初発表します。

土の現象と造形思考とを融合させ、自然と人為、生成と崩壊、内部と外部などの独自の制作課題を立ち上げ、秋山はさまざまに変容する大地の様相のような力強い造形とともに複数のシリーズを進展させてきました。2003年より手掛けている「Metavoid」シリーズは、物が介在して生まれる空間認識の追求に主眼を置いた作品です。轆轤で成形した大きな器状の内側と外側とを反転させ、形あるものの中に生まれるvoid(中空)と、展示空間を一つの大きな器として捉えたvoidの双方に渡って、物と物を包み込む空間との関係に変容を生じさせます。多層的で動きのあるテクスチャーや、人の知覚とのスケールバランスに至るまで、秋山の追求一つ一つが形として姿を現し、土からさらなる可能性を引き出します。本展では、100~180cmほどの大型作品となる「Metavoid」シリーズ最新作5点。秋山の「今」をご紹介します。

黒陶からの移行時期であった1993年頃より、秋山はサイドワークとして蜘蛛の巣を版にしたモノタイプ制作も始めていました。自宅の周辺で初夏から秋にかけて、毎朝のように出会うという蜘蛛の巣の自然美を留める作品です。昨年から今年にかけて制作された約50点を今回初めて展示空間へと配します。本作は、秋山の造形における「根幹」と「今」を有機的につなぐ展開図のようにもご覧いただけることでしょう。

本展は、いわゆる陶芸というジャンルの枠を超え、焼きものを「私たちの足元の大地につくるささやかなるし」と捉える秋山の大切な視座、あるいは造形思考をストレートに体感できる展覧会となります。2009年『秋山陽展』にて第17回MOA岡田茂吉賞工芸部門大賞と第52回毎日芸術賞を受賞して以来、アートコートギャラリーでは4年ぶりとなる個展です。どうぞご期待ください。

【展覧会概要】

タイトル: 秋山陽展

会期: 2013年12月3日[火] - 2014年1月25日[土]

休廊日: 日曜・月曜・祝日 および冬期休廊(12月22日 - 1月6日)

開館時間: 11:00 - 19:00 (土曜 - 17:00)

◆関連イベント: 12月7日 [土] 14:00 - 17:00

14:00 - 15:30 ... 対談: 森 孝一 (美術評論家 / 日本陶磁協会 事務局長) × 秋山 陽

15:30 - 17:00 ... レセプションパーティー

主催: アートコートギャラリー

協賛: 三菱地所株式会社、三菱マテリアル株式会社、株式会社三菱プロパティマネジメント



蜘蛛の巣を版としたモノタイプ作品, 2012-2013 (撮影: 福永一夫)

◎お問い合わせ: アートコートギャラリー 八木・大場 ※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問合せ下さい。

〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F | E-mail: info@artcourtgallery.com | TEL: 06-6354-5444 | FAX: 06-6354-5449 | URL: www.artcourtgallery.com



ARTCOURT Gallery

Yagi Art Management, Inc.

OAP ARTCOURT 1F 1-8-5 Tenmabashi Kita-ku Osaka 5300042 JAPAN

【作家略歴】

秋山 陽 Yo Akiyama

1953 山口県下関市生まれ
1976 京都市立芸術大学卒業
1978 京都市立芸術大学陶磁器専攻科修了
現在 京都市立芸術大学教授、国際陶芸アカデミー会員、日本陶磁協会会員

| 個展 |

2011 Joan B. Mirviss Gallery (SOFA, New York) ['07]
2010 Galerie Pierre Marie Giraud (ブリュッセル、ベルギー)
2009 アートコートギャラリー (大阪)
2008 村松画廊 (東京) ['98]
2005 壺中居 (東京)
Frank Steyaert Gallery (ゲント、ベルギー)
2004 世界のタイル博物館 (常滑)
1999 コンテンポラリーアート NIKI (東京)
1996 GALLERY KOYANAGI (東京) ['93, '89, '87]
ギャラリーなかむら (京都) ['87]
1991 渋谷西武工芸画廊 (東京) ['88]
1986 INAX ギャラリー 2 (東京)
1985 ギャラリーマロニエ (京都) ['83, '82]
1980 ギャラリー 16 (京都)
1977 ギャラリー射手座 (京都) ['76]

| グループ展 | * 2009年以降

2013 秋山陽+北村純子 (柿傳ギャラリー、東京)
第22回日本陶芸展 (東京・大阪・茨城・福岡・愛知を巡回)
第54回日本陶磁協会賞受賞作家展 (和光ホール、東京)
2012 Design Miami (USA)
梅原猛と10人のアーティスト展 (高島屋 京都・東京・大阪・名古屋・横浜)
Design Basel (スイス) ['11, '09]
ソリエリユミエール物質・移動・時間 (金沢 21世紀美術館、石川)
陶芸の魅力×アートのドキドキ (滋賀県立陶芸の森)
2011 試みの茶事 (高山寺、京都)
やきものを愉しむ (碧南市藤井達吉現代美術館、愛知)
小さな宇宙展 (市の倉さかづき美術館、岐阜)
日本×ファエンツァ やきものの現在 (イタリア文化会館、東京)
日本の現代陶芸—伝統と新風の精美
(江別市セラミックアートセンター、北海道・瀬戸市美術館、愛知)
オブジェ造形の潜勢力 (山口県立萩美術館・浦上記念館)
梅原猛と10人のアーティスト展 (中信美術館、京都) ['09]
2010 黒の物質 (世界クラフトカウンスル モンス、ベルギー)
試みの茶事 (東京国立近代美術館工芸館)
京都美術文化賞の作家達 (中信美術館、京都)
現代の茶造形の自由 (菊池寛実記念 智美術館、東京)
輝くわざと美—日本の工芸いま (香川県立ミュージアム・愛知県美術館)
第17回岡田茂吉賞展 (MOA美術館、静岡)
ようこそ彫刻の森へ (和歌山県立近代美術館)
2009 The dark side of earth (Gallery Pierre Marie Giraud、ベルギー)
ゆかいなかたち (岐阜県現代陶芸美術館)
World Contemporary Ceramic—Adventure of the Fire
(利川世界陶芸センター、韓国)
第21回京都美術文化賞受賞記念展 (京都文化博物館)



《抱卵のかたち—遠近法—》1978-2013, 陶, 14.5×53×20 cm (撮影: 福永一夫)

| 受賞 |

2011 第52回毎日芸術賞
2010 現代の茶造形の自由 優秀賞
第17回MOA岡田茂吉賞 工芸部門大賞
2008 第21回京都美術文化賞
2007 第4回円空賞大賞 円空賞
第25回京都府文化賞
2006 現代の茶陶展 優秀賞
2001 第19回現代日本彫刻展 宇部興産賞
1997 日本陶磁協会賞
1994 第12回京都府文化賞 奨励賞
1992 第3回「次代を担う作家」展 準大賞
京都市芸術新人賞
1989 第46回ファエンツァ国際陶芸展 買上賞
1988 '88 八木一夫現代陶芸展 優秀賞
1987 '87 八木一夫現代陶芸展 読売賞
1986 '86 八木一夫現代陶芸展 優秀賞
1985 京都美術工芸選抜展 買上賞
1984 京都美術工芸選抜展 買上賞

| パブリックコレクション |

京都府/滋賀県立近代美術館/国際交流基金/
ファエンツァ国際陶磁美術館/和歌山県立近代美術館/
ヒューストン美術館/エバーソン美術館/滋賀県立陶芸の森/
ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館/愛知県美術館/
愛知県陶磁資料館/京都市美術館/サントリー美術館/
国立国際美術館/東京国立近代美術館/常滑市教育委員会/
プラハ装飾美術館/高松市美術館/岐阜県現代陶芸美術館/
カナディアン・クレイ・アンド・グラスギャラリー/
郡山市文学資料館/国際陶芸スタジオ・ケチケメート/
ケラミオン・フレッチェン/東京オペラシティ・アートギャラリー/
宇部市野彫刻美術館/ミント美術館/ミネアポリス美術館/
ポストン美術館/スミス・カレッジ美術館/
アマローシ陶彫美術館/茨城県陶芸美術館/
金沢21世紀美術館/大阪市立東洋陶磁美術館/
京都国立近代美術館/京都中央信用金庫/島根県立美術館/
ホルルル現代美術館/セーブル美術館/ポートランド美術館/
山口県立萩美術館・浦上記念館